

IBM Informix Dynamic Server Version 9.40

特長

- パフォーマンスがさらに向上した IBM Informix® Dynamic Server (IDS) の新バージョンが発表されました。
- 他に例を見ないスケラビリティ。オンデマンド・ビジネスの予測不可能な難問に対応します。
- 今お使いのIDS製品からIDS 9.40へのアップグレードは容易で、自動化されています。
- スムーズで、自動化されたアップグレード。
- ビジネス・パートナーのアプリケーション向けに柔軟性と互換性を向上。

今日の無停止コンピューティングに対応したパフォーマンスと可用性

IDSはエンタープライズ・コンピューティングとワークグループ・コンピューティング向けの業界有数のOLTPデータベースです。これまでも要求の厳しい運用環境できわめて巨大なデータベース・システムを常にサポートしてきました。バージョン9.40では、この経験が他に例を見ないパフォーマンス、可用性、スケラビリティ、セキュリティ、単純化された管理機能、ビジネス・パートナー・アプリケーションのサポートなどを実現しました。IBMとInformixとが提供してきた、企業が業務を運用するのに必要とする基幹系のデータ・インフラストラクチャーを、IBMが引き続きご提供いたします。

IDS 9.40は、今日の常時利用可能なWebアプリケーション・ベースのOLTPで必要とされる以下のような性能を提供しています：

高パフォーマンス——Version 9.40で、IDSは大容量メモリーをより効率的に利用し、同時接続ユーザー間の競合をさらに削減することで、これまでも高かったOLTPパフォーマンスを8ないし15パーセント向上しました。

データ可用性——IDS High Availability Data Replication (HDR) が完全なターン・キー障害復旧機能を提供します。IDS Enterprise Replication (ER) は地理的に分散した場所にまたがるデータに対して選択的なレプリケーションを提供します。IDS 9.40はワールドワイド・ネットワーク内の重要なノード上にこの二つが共存することを可能にします。

増加の一途をたどるデータ量に対応したスケラビリティ

データベースが大きくなり、それにアクセスする同時利用ユーザーが増えるのに合わせて、IDSは必要に応じた高いスケラビリティを提供しています。パフォーマンスを損なうことなく、コア・エンジンの運用パラメーターを動的に調整します。同時に、動的でスケラブルなアーキテクチャーがハードウェア・リソースを有効活用して、ハードウェア要求を最小限に抑えます。

IDS 9.40で拡張されたスケラビリティは、IDSインスタンスの最大サイズを4テラバイトから、理論上は128ペタバイトに拡大します。パフォーマンスを改善したことに加えて、このスケラビリティが、現在の大規模ディスク・ドライブの利用を可能とし、データベース管理者(DBA)が管理しなければならないチャンク数を大幅に減らすことで管理コストを削減します。